

リニア通信

編集発行
『リニアを
問う愛知
市民ネット』

代表 小林 収
〒460-0022 名古屋市中区金山5-2-30
レックスマンション604号
電話 052-871-3484
FAX 052-881-6246

リニア中央新幹線工事談合問題で

“JR東海と交渉” [報告]

二月二十七日 中央新幹線保全事務所へ「リニアを考える愛知県連絡会」と「リニアを問う愛知市民ネット」の二つの市民団体から五名が出掛け、談合問題と情報公開問題を中心に一時間半に亘って交渉してきました。交渉には保全事務所からは三名が出席しました。

JR東海は民間企業とはいえ、リニア中央新幹線事業は全国新幹線鉄道整備法（以下「全幹法」）事業として位置付けられ、国の大動脈輸送を担う事業であること、加えて、四五年の大阪開業予定を八年前倒しするため、国から三兆円の財政投融资が行われたことなど、この計画は公共性が高い公共事業であります。談合は民間企業であつても、公正な取引と競争を妨害するものであり「独占禁止法」「公正取引防止法」に違反する犯罪行為で許されない問題であります。「公共事業」ならなおさらであります。

今回の交渉では、リニア工事で談合を引き起こした工事発注元JR東海と大手ゼネコン四社との契約がどのような経緯で結ばれたのか、またその契約は正当なものであったのか、再発防止策は、工事進行中の談合四社との工事契約はどうするの

か、今後、談合四社との契約はあるのかについてJR東海に問いたりました。

JR東海の「リニア工事優先」が企業の談合を許す

JR東海の回答は、①四社との契約問題については、『民間企業の契約に関する問題で答えできない』②再発防止については、『社内調査委員会を設け、専門家からの意見をいただき再発防止に努める』『その内容は現在進行中で答えられない』③四社との再契約について



図 名古屋駅前工事現場（2018年3月4日撮影）

名古屋東海道線ホーム北端から工事現場を見る（正面奥中央の濃色ビルがIMONビル、右へ1つ置いて白いビルが河合塾）

ては『契約に関する事なので答えられない』といった回答でありました。さらに、現在進行中の工事が適正な価格での契約であったのかについてさえ説明はされず、不透明なままであります。

JR東海の態度は、言葉では「情報は提供し丁寧に説明していく」と言いながら、国民が知りたい核心部分には『「民間企業」ですから契約に関することには答えられません』との回答に終始しました。リニア工事を優先するJR東海の隠ぺい体質と金儲けの企業倫理が、談合にかかわった四社の犯罪を免罪し、日本企業の談合構造を作り出しているのです。大規模公共工事に係るJR東海のこうした談合を生み出す姿勢は許されません。

リニア計画は公共工事です

リニア中央新幹線計画は「全幹法」による認可事業であるために、この法に基づき用地買収に地方自治体が便宜を図ることが定められており、大都市圏（東京都、神奈川県、愛知県、大阪府）の深度地下利用（公共事業に認可）を前提に工事計画が立てられています。交通輸送事業は利用者国民の足として事業が成り立っていることを忘れてはなりません。同時に、リニア計画がJR東海の自前の資金で建設されるとはいえ、きわめて公共性の高い交通輸送事業で公共事業そのものであり、事業そのものが利用者国民に支えられていることを忘れてはなりません。

私達は、利用者国民目線でリニア中央新幹線工事について監視し、JR東海に粘り強く情報公開と丁寧な説明を求めています。（文責 井戸）

愛知県リニア事業推進室は何のためにあるのか? 工事残土等に関する愛知県との面談報告

昨秋来、リニア反対運動の全国組織であるリニア新幹線沿線住民ネットワークの提唱で、沿線一都六県の知事に対して、「リニア中央新幹線工事の土壌対策に関する要望書」が提出されました。その要旨は、リニアのトンネル工事から出る残土の重金属問題について、JR東海から完全に独立した、学識経験者を中心とする権威ある調査・管理のための第三者機関を、各都県に設置せよというものです。私たちは、愛知県に対しても昨年末、リニアを考える愛知県連絡会とともに、要望書を提出すると同時に、残土問題を中心にいくつかの質問に対する回答を求めて面談の申し入れをしました。その回答が、本年二月七日にありました。対応をしたのは、リニア事業推進室と環境活動推進課でした。

愛知県内のリニアは、名古屋駅から中区三の丸一丁目までを除けばすべて名古屋市と春日井市の地下を通るトンネル工事ですが、この工事から出る残土と地下水について、県はどのように関与するのかを問うたところ、「何もする権限がない」という回答でした。

つまり、土壌汚染対策法と水質汚濁防止法によれば、政令市である名古屋と特例市である春日井市が行政権限をもっているのです。愛知県が口出しすることはできないというのです。常に愛知県に対して対抗意識を出す名古屋市は別にして、実際に問題が発生した場合には、春日井市が愛知県と相談するのは明らかであるにも拘わらず、切って捨てたような返事がされました。

実際に鉛汚染残土問題が発生した名城東小

公園の非常口工事についての認識を問うても、名古屋市の問題だとして、取り合おうとしませんでした。

また、ストップ・リニア!訴訟の昨年一月の口頭弁論で、愛知県の原告が指摘した春日井市の西尾非常口周辺的美濃帯問題については、環境影響評価の知事意見書で懸念を指摘しており、JR東海は「適切に処理する」と述べているので、「JR東海の処理を見守り、監視していく」というのに止まりました。さらに、瀬戸市の住民から、工事残土の搬入先が愛知県珪砂鉱業協同組合の掘削跡地に集中することへの不安が述べられたことに対しては、リニア事業推進室は「JR東海からの情報がない」と言い続け、環境活動推進課はダンプカーが集中して「交通渋滞による大気汚染や騒音問題が発生すれば対応する」と答えました。つまり、マスコミ等の報道によって、どうなるのか不安と心配を募らせている瀬戸市の県民に寄り添おうとする姿勢は全く感じられませんでした。

愛知県知事は、約半世紀に亘ってリニア新幹線の建設促進期成同盟会の会長を務めてきました。その下に設置されたリニア事業推進室は、いまやリニア事業《宣伝》室になってしまっています。県民がリニアに対して抱く疑問・不安・心配などを背にして、JR東海に向き合おうとする気概も姿勢も感じられませんでした。JR東海の走狗に成り下がってしまったというリニア事業推進室の存在価値への疑問を大きくしたやり取りに終わったのでした。

(文責 小林)

リニア工実施計画(その2)が認可されました。

去る三月二日、石井国土交通大臣は、リニア工実施計画(その2)をJR東海に対して認可しました。

リニア工実施計画は、三段階の別で認可されます。現在工事が始められているのは、リニア工実施計画(その1)で、対象とされている内容は鉄道路線そのものの建設です。今回認可された計画(その2)は、変電所等を中心とする電気関係の工事についてです。今後、リニアの車両工事について、計画(その3)の認可が予定されています。

私たちは、当然のことながら、計画(その2)も計画(その1)と同様に、認可を正当な行政処分と認めることはできません。

そこで、ストップ・リニア!訴訟団では、計画(その2)に対しても、国交大臣に審査請求を求め、正当な審査がされなければ認可の取消を求める行政裁判を起こしたいと考え、沿線住民のみなさんに御協力いただくことをお願いしています。

審査請求人と原告には誰でもなることができますが、裁判での原告適格性(「被害を受けること」の立証のし易さ)を考えると、できるだけ計画されている路線の沿線近くにお住まいの方のご協力をいただきたいと思います。愛知県下で路線に該当する市町名は、〈四頁の別表〉の通りです。

審査請求人と原告を募集しています。

ご協力をお願いします。

大深度地下使用

説明会に参加しよう！

“JR東海の横暴を許さないために”

リニア中央新幹線のルートは、品川～名古屋間の八六%がトンネルですが、中でも、東京、神奈川、愛知の都市部では、地下四〇メートルを超える深い地下である大深度地下のトンネルとなります。その理由は、都市部では用地買収が困難になることを予測して、「大深度地下の公共的使用に関する特別措置法」（大深度地下法）なるものが制定されていて、大深度地下の公共的工事では、地上の土地所有者の意思を聞く必要がないことになっているからです。

しかし、JR東海がそうした工事をするためには、国（国土大臣）から、大深度地下の使用認可を得なければなりません。JR東海は、去る三月二〇日にそのための認可申請をしました。そこで、法律にしたがって、その事業内容の説明会が、愛知県では「下表」のような予定で開催されます。この説明会は、関係地権者の利害関係に関する説明会ではなく、事業そのものの説明会ですから、事業に関心をもっている人であれば誰でも参加できます。

「リニア通信」読者のみなさん！

ぜひこの説明会に参加してください。

私たちの不満・不安を訴えるチャンスです

それぞれの会場を市民で埋め尽くして、

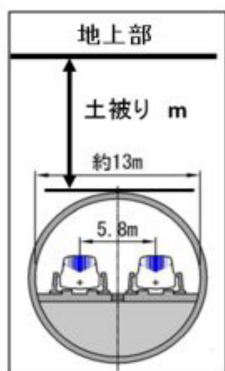
JR東海に疑問や不安をぶつけましょう！

中央新幹線品川・名古屋間 大深度地下使用の認可申請がされました。



事業区域②(春日井市坂下町四丁目～名古屋市中区丸の内一丁目)

図 3月20日にJR東海が国土交通大臣に申請した「中央新幹線品川・名古屋間に係る大深度地下の使用について」資料における事業区域図より 以下 詳細は次ページ＜別表＞参照



あなたの足下を
リニアが走る！

※土被り（地面からリニアトンネルまでの距離）は場所によって異なります。



＝大深度地下使用の認可に関する説明会＝

日 時	場 所
2018年5月10日（木） 18時30分～20時ごろ	ウィルあいち（愛知県女性総合センター） ウィルホール（名古屋市東区上笠杉町1）
2018年5月11日（金） 18時30分～20時ごろ	春日井市民会館（春日井市鳥居松町5-44）
2018年5月14日（月） 18時30分～20時ごろ	名古屋市立大杉小学校 体育館 （名古屋市北区大杉3-9-21）
2018年5月16日（水） 18時30分～20時ごろ	名古屋市立瀬古小学校 体育館 （名古屋市守山区瀬古東3-1303）
2018年5月18日（金） 18時30分～20時ごろ	春日井市民会館（春日井市鳥居松町5-44）

※問合せ先：JR東海 中央新幹線愛知工事事務所 Tel 052-756-2221

※その他・事前のご予約は不要です。＊ご来場者多数の場合 ご入場できない場合も

<別表> リニア大深度地下使用 愛知県内町名

○春日井市

明知町 神屋町 坂下町4丁目 坂下町3丁目 坂下町2丁目 坂下町1丁目 上野町 東神明町
 松本町 不二ガ丘3丁目 不二ガ丘2丁目 不二ガ丘1丁目 出川町 北城町4丁目 北城町1丁目
 下市場町6丁目 下市場町 堀ノ内町 堀ノ内町北1丁目 熊野町 林島町 小木田町 上条町4丁目
 上条町3丁目 上条町2丁目 王子町 下条町1丁目 小野町4丁目 小野町3丁目 小野町2丁目
 町田町2丁目 町田町1丁目 細木町1丁目 森山田町 勝川町10丁目 勝川町2丁目
 長塚町1丁目 勝川町1丁目 御幸町1丁目

○名古屋市

△守山区 大字瀬古 瀬古3丁目 瀬古東3丁目 瀬古1丁目
 △北区 上飯田町 上飯田北町4丁目 上飯田北町2丁目 上飯田北町1丁目 上飯田南町2丁目
 上飯田南町1丁目 御成通4丁目 織部町 下飯田町3丁目 下飯田町2丁目 下飯田町1丁目
 若葉通3丁目 若葉通2丁目 紅雲町 城東町7丁目 城東町6丁目 生駒町6丁目
 生駒町5丁目 水切町5丁目 長田町2丁目 長田町1丁目 中杉町3丁目 大杉町4丁目
 大杉町3丁目 大杉3丁目 大杉2丁目 清水2丁目 清水1丁目
 △東区 白壁2丁目
 △中区 三の丸4丁目 二の丸 三の丸2丁目 三の丸1丁目 丸の内1丁目



署名活動体験記

長く厳しい冬がようやく終わろうとしている2月末、生協の店先でリニアに反対する署名活動をしてきました。

「リニア新幹線訴訟の公正な審理を求める署名」の積み上げに頭をひねっていたある日、『そうだ！生協に行ってみよう！！』と思いつきました。日頃、環境活動にも熱心に取り組む生協の店先なら、署名もたくさん集められそう。ある人をお願いして生協の店長さんに打診してもらったら、すぐに快諾の知らせが届きました。

店長さんの計らいで、たくさんのお客さんが集まる「日曜朝市」に合わせて署名活動を始めました。朝市のレジ横に、準備してきた宣伝用看板を折り畳み椅子の背に立てかけ(写真参照)、『おはようございま～す！リニア反対の署名をお願いしてま～す！』と声がけすると、その反応はさまざまです。

店から車で10分もかからない「坂下非常口」の写真を見て初めてリニアの工事がすぐ近くで始まっていることに気

が付く人、『いまさら反対しても遅いのでは？』という人、『即、署名』してくれる人。絶滅が危惧されている「オオタカ」が棲む春日井市東部丘陵近くで工事が始まることを告げると即座に署名してくれる人、『無反応』の人、賛成派らしい『なんで反対なの？』という人などなど。署名に好意的な人の割合が、名古屋駅前チラシ配りとは比べ物にならないほど大きいのは期待していた通りでした。

この日は10時から12時までの2時間で20筆の署名が集まりました。その後、同じ時間帯で月曜日から土曜日まで署名活動を続けましたが、残念ながら初日ほどの成果は上がりませんでした。それでも、直接の声がけと会話を通して、リニア中央新幹線建設に伴う弊害をより多くの人に伝えることができたように思います。また、近所の顔見知りの人や安倍政権・JR東海の傲慢不遜な態度に怒る人との出会いもありました。

店長さんをはじめ生協の皆さんの温かいご支援を受けて、有難く貴重な署名活動ができました。(大塚)



皆さまへのご連絡とお願い

会費等をお振込みいただいた皆様へは「リニア通信」や「訴訟ニュース」発送時に領収書を同封させていただいています。また「振込用紙」は、上記発送時の4～5日前までにお振り込みいただけなかった皆様に同封させていただいています。

ご理解下さいますよう よろしくお願い申し上げます。

『リニア通信』編集発行；リニアを問う愛知市民ネット Email:toukai-jnc@aiores.ocn.ne.jp

カンパのお願い；御協力のほど なにとぞよろしくお願い申し上げます。

振込先【郵便振替】口座番号；00840-0-152961 口座名；リニアを問う 愛知市民ネット